学校番号	３０４

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『高等学校　新公共　改訂版』（第一学習社）						
副教材等	『最新公共資料集　新版』（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「公共」は現代の国内で起こっている事柄や、国際的に起こっている事柄について、なぜこの問題が起こっているのだろうという疑問が説明できるようになる力を養っていきます。様々な問題の背景には政治的対立、経済的な事象、或いは宗教的対立があります。これらの内容が理解できるように学習し、社会を理解し、支えられる大人になれるように努めていきましょう。社会的問題点の解像度を高め、深く考察できる力を養います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するために，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

経済の原理原則について学び、現代社会にあてはめて理解ができる力をつける。独占・寡占が生じた際の物価や、国際通貨の価値変動によって生じる物価高/安について理解し、政治的な観点から社会を分析する力だけでなく、経済的視野からも現代社会を考察する能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行うなかで，自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間を作る私たち	○青年期の課題について学ぶ。また、これまでの人々の哲学や思想を学び、現代で生きていく私たちがどのように生きていくべきかを考える。 ○世界で信仰されている宗教について学び、異文化に対する理解を深める。	a:青年期の特徴や発達課題、アーレントなどの思想、功利主義、カント、ロールズ、センの思想を理解したか。 b:功利主義や公正・正義の考え方と社会の在り方との関係、政策への影響、生命科学の進歩や環境倫理の課題について、探求し、自分なりの問題意識を言語化できたか。 c:日常使う言葉と伝統・文化との関係を探求し、それに関わる課題を考察できたか。 規則と自由に関連する課題について、実際の場面を想定した思考実験によって、選択判断とその理由を考察できたか。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表
	政治的な主体となる私たち	○「政治」とはどのようなものか、これまでの歴史や思想を元に考えを深めていく。 ○アメリカやイギリス、中国の政治機構や三権分立がどのように行われているのかを学習し、現在の日本の政治とどのような点で異なるのかを理解する。	a:近代政治の原理が成立するまでの過程について理解することができたか。 b:報道資料を参照し、他国の政治制度がどのようなものか、また日本とどのような点が異なるのかを説明できるか。 c:協働を成立させる方法としての国家（法）の役割について、具体例をあげられるか。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表

2学期	法的な主体となる私たち	○　司法制度から発展して、どのような法律が日本にはあるのかを、法の区分を通して理解を深める。また、社会規範となる道徳と憲法がどのように異なるのかを理解する。 ○実際に裁判になった際の原則を理解する。報道などを通して実際の裁判における法的判断と、民衆の道徳的判断が異なる場合、なぜ異なるのかを考察する。模擬裁判や判例における判断を学習し、法的視点を養う。	a:法の区分、特色、法案の作成や提出、契約をめぐる問題、消費者の権利、司法のしくみなどについて理解したか。 b:報道の資料を参考に、ネット通販のトラブル、裁判の手続きの特色、刑事司法の課題や民意の反映について探求し、課題をまとめられたか。 c:裁判における「無罪推定の原則」や「責任能力」について学び、現代で起きている事件に対する裁判の結果がどのように導き出されたものなのかを理解したか。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表
	経済的な主体となる私たち	○現代の経済について、基礎的な学習から進めていく。経済の根幹となるトレードオフの関係から学んでいき、経済主体、特に企業の働きについて理解する。 ○発展して、市場経済のメカニズムについて学習する。需要と供給のグラフの説明から始め、グラフがもたらす意味は何なのか、実際の社会においてどのような例が挙げられるのかを共同学習していく。 ○現代の経済活動に対し、金融機関や政府はどのようなかかわりをもっているかを理解する。	a:家計と政府・企業との関係、需給曲線の意味、経済指標の計算方法と意味、経済成長の要因、景気変動の具体的な現象、通貨制度、直接金融と間接金融、金融システムと生活の関わり、中央銀行の役割、金融の自由化、財政の歳入と歳出の構造の変化、租税の分類、国債の役割、社会保障制度の４つの柱を理解したか。 b:希少性、機会費用、トレードオフの概念を例を挙げて説明できたか。豊かさの指標としての、ＧＤＰの限界について、例を挙げ説明できるか。価格機構、外部不経済、寡占市場、経済成長、景気変動、物価変動、金融政策、財政活動について、実例を挙げて説明できるか。少子高齢化の影響をさまざまな視点で説明できるか。 c:銀行や証券会社、保険会社などの業務を調べたか。　今後の社会保障の方向性を、諸外国の例も参考に議論できたか。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表

3学期	国際社会のなかで生きる私たち	○ 国際社会が平和・安全を目指していくために、これまでどのような方法が試行されたのかを理解する。特に、現代における国際連合の働きと、国際連盟との違い、現代の国際問題に国際連合はどのように対応しているのかを理解する。	a:国際連合のしくみ、日本の防衛政策、冷戦の歴史、冷戦後の国際情勢について理解したか。 b: 現代の紛争について、映像資料や新聞記事などを活用して、調べ、まとめられたか。 c: コロナ流行の際の国連の動きや、その他の地域で発生している国際紛争・戦争に対しての国連の行動について評価ができるようになる。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表
		○国家を超えた経済活動について、これまでの歴史を踏まえながら理解を深めていく。自由貿易が推進されていく現代において、なぜ保護貿易がかつては有効であったかを理解する。 ○自由貿易推進のために、現代ではどのような協定が結ばれているかを理解する。	a:自由貿易と保護貿易、リカードの比較生産費説、国際収支統計、国際通貨制度、為替相場、国際経済秩序、南北問題などについて理解したか。 b: 為替相場変動の背景・影響や、保護貿易の動きについて、経済ニュースを調べ、まとめられたか。 c: FTA や EPA など地域統合の動きについて、プラットフォーマーの進出にともなう課題について意見交換できたか。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期テストの結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度